

◆◆◆許しません◆◆◆

- 昭和46年。私が小学1年生のころの思い出話です。  
ある日の朝の会でのことです。  
Aさんが顔を真っ赤にして頭から湯気を出さんばかりに訴え始めました。  
「きのう、〇〇さんと一緒に帰っていたら廣渡くんからまた悪口を言われました！」



- 私は…心当たり十分。  
担任の先生の顔色がサッと変わります。  
「またあんたね！何回同じことを言われますか！  
廣渡くんにいじめられたことがある人、立ちなさい！」と、すごい剣幕。  
「ガタガタガタッ。」  
女子も男子も。ほとんど全員が立ち上がります。（…のようにこの時は見えました）  
仲がよかったはずの友達まで立っています。  
「見てごらん！こんなにたくさん！許してもらうまで一人一人に謝りなさい！！」

- 私は一人一人に謝りはじめました。  
「〇〇さん、ごめんなさい」「〇〇くん、ごめんなさい」…  
ほどなく、Aさんの前に立ちました。「Aさん、ごめんなさい」  
すると…



許しません！！

よほど腹に据えかねていたのでしょう。  
「許してもらうまで謝りなさい」担任の先生の非情な声。  
私は何度も謝りました。それでも許してもらえません。  
仕方なくだまっていると、「何しようかね！許してもらえるまで謝りなさい！！」  
と担任の先生。「ごめんなさい」「許しません！」「ごめんなさい」「許しません！」…  
記憶はここらへんで途切れています。  
あれから半世紀あまり。  
嫌な思いをさせたAさんをはじめ学級の友達、迷惑をおかけした担任の先生、  
覚えておられるでしょうか。改めてごめんなさい。